

令和 5 年 6 月 20 日現在

機関番号：13101

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2018～2022

課題番号：18K00823

研究課題名（和文）動詞分類における学習および研究のコーパスの構築

研究課題名（英文）Construction of a compass and learning research in verb classification

研究代表者

朱 継征（Zhu, jizheng）

新潟大学・人文社会科学系・フェロー

研究者番号：20313497

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,300,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は動詞と動詞、形容詞、名詞、その他との組み合わせのデータを格納し、約1,680,000文字の日本語対訳を加えた。これらのデータを踏まえ、2022年度は「快音快調中国語（初級）」の教材を完成した。このように、本研究は中国語学習者、研究者、教育者に有効かつ有力な学習および研究コーパスを提供するだけでなく、本研究成果は学術論文、図書等に取りまとめて社会・国民に迅速かつ広範に還元できた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は「V+VP」の後項述語は動詞だけではなく、形態素であることが少なくないことが判明した。これまでの研究では、動補構造の後項述語は「V+VP」と「V+AP」であるとみなされているが、今回の分類で動補構造の範囲を改める必要があることを明らかにした。また、本研究のコーパス構築において、データの分類と分析などの作業を若手研究者に振り分けることにより、若手研究者の育成に大きく貢献することができた。さらに、本研究成果の一部は、【図書】朱継征（2023）（単著、『快音快調中国語』、東京：駿河台出版社）として社会・国民に迅速かつ広範に還元されている。

研究成果の概要（英文）：This study saved data on verbs, adjectives, nouns, and other combinations. It added Japanese translations of approximately 1,680,000 characters. Based on this data, in the year 2022, we completed the teaching materials for "Kuayin kuaidiao Chinese (Beginner)". In a way, this research not only provided an effective and powerful learning research compass for Chinese language learners, researchers, and educators, but also compiled the results of this research into academic papers, books, etc. This study was able to quickly and widely return them to society and public at large.

研究分野：言語学

キーワード：動詞 コーパス 日本語対訳 中国語学習者 中国語教育者 中国語研究者

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

コーパスとは言語研究用のデータベースのことであり、対象となる言語の全体像を歪みなく反映しているものを特に均衡コーパスと呼び、言語研究に欠かせない重要なインフラである。しかし、中国語対日本語にはこれまで本格的な均衡コーパスが存在せず、言語研究において大きな問題となっている。

これまで、中国語研究者に利用できるコーパスとしては北京大学インターネットコーパス(以下では「CCL」と標記)、北京言語大学インターネットコーパス(以下では「BCC」と標記)などが挙げられる。これらの検索エンジンは小説などから大量の例文を集めることに重点をおき、以下の点に関しては不足している。重複した例文が大量に出てくるため、分別するのに時間と手間がかかる。動詞と他の品詞との組み合わせをカテゴリーごとに分類していないため、研究者には利用しにくい。ピークアップされた動詞に関する品詞及び語義について説明がないため、一般学習者にとってはわかりにくい。中国語学習者向けの日本語訳がないため、中国語の学習及び研究に支障が生じやすい。

以上の現状を踏まえて、本研究は動詞と他の品詞との組み合わせのデータを格納し、分類及び対訳を加え、中国語学習者、研究者、教育者に有効かつ有力な学習および研究コーパスを提供することを志している。

2. 研究の目的

動詞はほぼすべての言語に持つとされる基本的な品詞である。本研究は中国語学習者、研究者、教育者の異なる立場を考慮しつつ、中国語学習者、研究者・教育者に有効かつ有力な動詞の学習および研究コーパスを提供することを目的とする。具体的には、動詞と他の品詞、例えば、「動詞+動詞」、「動詞+名詞」、「動詞+形容詞」、「動詞+その他」のカテゴリーに分類し、さらに対訳を加え、中国語学習者と研究者の専門知識の違いによって異なる説明内容を提示する。これによって、第二言語習得の発展に寄与するとともに、異言語コミュニケーションに欠かせない機械翻訳技術に役立てることが期待される。中国語学習者及び研究者または中国語の教育現場に体系的かつ効率的な学習支援を行うことに役立てることが期待される。コーパス構築において、大量のデータ分析などの作業を若手研究者に振り分けることにより、将来的に若手研究者の育成と学術の革新に貢献することが期待される。

3. 研究の方法

本研究は主に以下の段階を踏み研究を進めた。

第一段階はコーパスの基礎構築を行った。具体的には、若手研究者に中国語の《**汉语大词典**》(語彙項目は37万個)から動詞を抽出してもらい、「動詞+動詞」、「動詞+名詞」、「動詞+形容詞」、「動詞+その他」のカテゴリーの分類を行った。抽出した動詞と動詞の語義をパソコンに入力し、中国語の一般学習者用と研究者用の例文に分け、関連する例文をCCLとBCCから抽出作業を行った。現在、動詞分類における学習及び研究のコーパスに検索可能語彙項目は約1000個(約1,680,000文字)である。

第二段階は抽出された動詞の語義、分類、例文の修正及び補足の作業を繰り返したうえ、品質審査を行った。

第三段階は抽出した例文を日本語の対訳作業を行い、完成した対訳の適切さの確認作業を行った。

4. 研究成果

(1) 本研究は「動詞+動詞」、「動詞+名詞」、「動詞+形容詞」、「動詞+その他」との組み合わせのデータを格納し、約1,680,000文字の日本語対訳を加えた(「コーパスの一例」をご参照ください)。

(2) 動補構造において、「V+VP」の後項述語は動詞だけではなく、形態素であることが少なくないことが判明した。これまでの研究では、動補構造の後項述語は「V+VP」と「V+AP」であるとみなされているが、今回の分類で動補構造の範囲を改める必要があることを明らかにした。

(3) (1)で抽出分類された語彙項目で整理された例文を活用し、動補構造または動詞分類を中心とした研究論集を発行するため、研究を分担する執筆者を確保し、執筆完了した。

(4) これらのデータを踏まえ、2022年度は「**快音快調中国語(初級)**」の教材を完成した。「**快音快調中国語(初級)**」は全部で13課からなり、「**連動文**」や「**動詞述語文**」などの学習項目設けである。中国語学習者は「**快音快調中国語(初級)**」を使用する際、わからない言葉は本コーパスを辞書替わりとして使用していただき、教育者は本コーパスから一番適切な例文を選別することで、文法項目を説明しやすくなることが期待できる。

このように、本研究は中国語学習者、研究者、教育者に有効かつ有力な学習および研究コーパスを提供するだけでなく、本研究成果は学術論文、図書等に取りまとめで社会・国民に迅速かつ広範に還元できた。

今後、さらにカテゴリー化された「動詞+動詞」、「動詞+名詞」、「動詞+形容詞」、「動詞+その他」の例文を増やし、対訳をつける作業を行う予定である。例文を増やすことで、研究結果の信憑性を高めることが期待できる。

本研究は新型コロナウイルスの関係で、仕事を引き受けてくれた担当スタッフが本業に使う時間が予想以上に多くなったため、例文抽出と翻訳などの作業に使う時間が大幅に増えた。さらに、円安が進んでいたため、中国の在住者に依頼した本研究の一部作業は当初の予定より経費がかかった。このような不可抗力による事態を防ぐため、今後の研究はより一層綿密に計画を立てる必要がある。

コーパスの一例：

(研究者用の各カテゴリーにおいて、多くの例文から3つのみ提示する。)

<初心者>

除(chú)

【動】 (除く;取り除く;取り去る。)

例: 铲除(取り除く。);

战天灾, 除人祸。(天災とたたかい、人災を除く。);

为民除害。(人民のために害を除く。);

除名

<数>(除する;割る。)

例: 八除以二等于四。(8割る2は4。);

用三除九得几?(3で9を割るといくつか。);

十能被五除尽。(10は5で割り切れる。)

【介】 (...を除いて;...以外は。)

例: 以外;

中国是一个多民族国家, 除汉族外, 还有五十多个少数民族。(中国は多民族国家で、漢族以外に50いくつかの少数民族がいる。)

<研究者>

除 V

例1: 众人从惊惶中觉醒过来, 都道: 幸得剑神除灭叛徒, 才不致坏了咱们的大事。”(CCL: 金庸/天龙八部)(多くの人々は驚きの中から目を覚まして、言った。「剣神が裏切り者を除いてくれたおかげで、大事を損なわなくて済んだ。)

例2: 它过身, 留下一点什么在这个世界上; 它消失, 当真就消失了。除留在你心上那个痕迹, 说不定从此就永远消失了。(BCC: 沈从文/我的人生哲学)(それは振り返って、何か少しこの世界に残した。それは消えて、本当に消えてしまった。あなたの心に残った痕跡以外は、永遠に消えてしまったのかもしれない。)

例3: 蒋介石在抗战初期除杀掉韩复榘之外, 还曾数度杀人以惩戒作战不力者。(CCL: 史传/蒋氏家族全传) 蒋介石は抗戦初期に韓復榘を殺害したほか、何度も人を殺して作戦の力にならない者を罰した。

除 N

例1: 除了辩证的症结, 我坚持平等和完全洒脱的态度。 “除战争需要, 我从不记死仇/”

我为此自满自足，因为我通常看到的与此相反的作法都站不住脚，“如此人不能庸乎理智，那就让他沉湎于痛苦。”（BCC：蒙田/蒙田随笔全集）議論の問題を除いては、私は平等と完全に洒脱な態度を堅持する。「戦争が必要とする以外、私は決して恨みを抱かない。私はこのため自己満足している。なぜかという、通常見かけるこれと異なったやり方には全部成り立たず、「このような人に理性がないなら、その人を苦痛のなかに沈めよう」

例 2：天灶知道父母在他与天云斗嘴时，永远会偏袒天云，他已习以为常，所以并不气恼，而是提着两盏灯笼进“浴室”除灰，这时他听见天云在灶房惊喜地叫道：“水缸盖上的头绫子是给我的吧？真漂亮呀！”（BCC：迟子建/清水洗尘）天竈は自分が天雲と喧嘩をする時、両親が絶対に天雲の味方をするを知っていた。彼はもう慣れっこになっていて、怒らずに、提灯二つを持って「風呂場」に入り灰を払った。この時彼はキッチンで天雲が驚いて、「水瓶の蓋の上のリボン、私にくれるんでしょう？綺麗！」と驚いたのが聞こえた。

例 3：祖父一辈子爱花，我看他一进花园，就卷起袖子，撩起长衫，拿起花铲或花锄，蹲下去松土、除虫、施肥，又站起拿起喷壶，来回浇灌。（BCC：冰心/冰心全集第七卷）祖父は生涯花が好きで、彼が花園に入ると、袖をまくり上げて、長いシャツをかき上げて、シャベルやすきを取って、しゃがんで土をほぐしたり、虫を取って、肥料をやっては、また立ち上がって、じょうろを取って、何度も水やりをするのを見た。

除 A なし

除其他 なし

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計4件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 楊麗栄・尹美蓮	4. 巻 第6号
2. 論文標題 「動+个+形/動」と「動+得+形/動」の使い分けについて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『言語研究 ー朱繼征教授退官記念論文集ー』	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 朱繼征	4. 巻 第5号
2. 論文標題 論動相形式	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『言語研究』	6. 最初と最後の頁 71 - 82
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 楊麗栄	4. 巻 第5号
2. 論文標題 部首と動詞分類による完了義を表す“完”と“好”の使い分け	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『言語研究』	6. 最初と最後の頁 61 - 70
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 朱繼征	4. 巻 第4号
2. 論文標題 関与東部結構的研究ー以“V完”為例ー	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『言語研究』	6. 最初と最後の頁 55 - 62
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計4件

1. 著者名 朱 継征	4. 発行年 2023年
2. 出版社 駿河台出版社	5. 総ページ数 92
3. 書名 快音快調中国語	

1. 著者名 朱継征編集	4. 発行年 2021年
2. 出版社 新潟大学大学院現代社会文化研究科刊行	5. 総ページ数 128
3. 書名 『言語研究』第6号	

1. 著者名 朱継征編集	4. 発行年 2020年
2. 出版社 新潟大学大学院現代社会文化研究科刊行	5. 総ページ数 82
3. 書名 『言語研究』第5号	

1. 著者名 朱継征編集	4. 発行年 2019年
2. 出版社 新潟大学大学院現代社会文化研究科刊行	5. 総ページ数 72
3. 書名 『言語研究』第4号	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	楊 麗栄 (Yang Lirong) (50815834)	八戸学院大学・地域経営学部・准教授 (31105)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関